

常盤の翠

志・寛・錬

発行
令和6年3月11日
鹿児島市立伊敷中学校

花を咲かせる根の充実を 校長 龍 義文

3月に入り、令和5年度も残り少なくなってきました。3年生はいよいよ卒業、1・2年生も学年の総まとめとなりました。この1年間、成功したこと、失敗したことなどたくさん経験をしたことでしょう。その経験こそが皆さんの成長です。

さて、学校やクラスの掲示に、「相田みつお」さんの詩や書が貼られているのを見かけます。

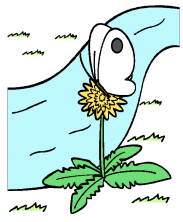
相田さんの詩が好きで、その短い言葉の中に凝縮された考え方に共鳴する先生が、生徒の皆さんにも味わってほしくて貼ってくださっているのだと思います。わたしも詩集を何冊か持っていて、詩も書も大好きです。

相田さんは栃木県の人で、禅宗の教えを受けた人です。自分はお坊さんにはなりませんでしたが、人生とか人間の生き方について深く考え、その思いを詩にまとめ、独特の字体の書にして多くの人に感動を与え続けた人です。

花を支える枝
枝をさせる幹
幹を支える根
根は見えねんだよなあ

みつお

この詩には、相田さんの深い思慮による思いが込められていて、簡単に解釈すると次のようになると思います。「人間はだれでも花になりたいと思う。立派な枝や幹に支えられ



美しい花になりたいと思う。しかし、その願いは、他人には決して見えない地中の根が、静かにかも確実に充実していなければならぬのだ。」

「人間にとっても大切なこと、それは根の充実。」そんな解釈をして、自分自身の生き方の戒めにも使っています。

ところで、皆さんは中学生。これまでの進路の学習の中で、「自分を考える」「ことについて学び」「進路を考へ・選択する」ことについて考えてきました。またキャリア教育として「社会人に学ぶ」ことや「職場体験学習」を職業観や勤労観も学んできました。

今、3年生は自分が選んだ進路、希望した進路が決定する目前になり、その思いも一層強くなっていることでしょう。家族をはじめ担任や周りのみんなが「選んだ進路、希望した進路」が実現するように心から願っていることでしょう。

1・2年生も先輩方の姿を自分に重ね合わせてみてください。

伊敷中学校で、そして卒業しても『自分の進路』が本当に実現できるように、『自分の花』が見事に咲くように、「自分の根を強く、確実に育てていく」こと、そんな気持ちを持ってくれる生徒が一人でも多くいてくれることを期待しています。

未来の自分を思い描く

一年生 社会人に学ぶ

1月8日に行われた1年生の総合的な学習の時間では、「社会人に学ぶ」と題して、地域で働く5人の方をゲストティーチャーとして招いて講話をしていただきました。

講師の先生方が今の職業に就くまでの経緯や、仕事を通して社会にどのように関わっているなど、普段なかなか聞くことができない話に、生徒たちも興味津々でした。「好き」を生かせる仕事、ものを作る仕事、人を救う仕事、地域を活気づける仕事、人に教える仕事など、身の回りには様々な仕事があるということ、生徒たちは肌身感じて学び、自分の将来の姿や、そこにたどり着くまでの進路について考えるきっかけを得られた貴重な時間になったようです。



はたしていつかの意義を知る

二年生 職場体験学習

1月23日から3日間、地域の事業所のご協力を頂いて、2年生の職場体験学習を行いました。

生徒にとっては、事前の打合せの電話連絡から、当日の体験学習に至るまで、初めての経験となることばかりでした。それぞれの事業所で活動をする中で、生徒たちは影に日向に活躍する様々な方々がいらっしやること、その一人一人が「はたらく」ことによって、社会が成り立っているということについて学ぶことができたようです。また、多くの人と関わる中で、礼儀・マナーなど、社会に出るまでに身に付けるべきことについても考えを深められたようでした。ご協力いただいた事業所の皆様、ありがとうございました。



まきのときをきき迎えて

立志式・講演会

2月9日に2年生の立志式が行われました。立志式は、元服をして、大人への仲間入りをしていた14歳を迎えたことを祝うとともに、大人になる自覚をもつための儀式として行われています。式の中では、大迫涼さんが立志の決意を堂々と述べました。

立志式の後は、「今からできる就職活動」をテーマに、ソニー生命保険の竹内亮太さんを講師として招いた講演会が行われました。若者の離職率が高い現状などを取り上げながら、自分の長所を探すことで、中学生の今から将来の就職や充実した人生を送るための準備ができるという話をしてくださりました。



仲間との最高の思い出を!

三年 クラスマッチ

3月7日に3年生のクラスマッチが行われました。前日に公立高校入試を終え、開放感に満ちた生徒たちは、グラウンド、体育館いっぱい歓声を響かせながら、熱戦を繰り広げていました。

中学校生活のゴールもいよいよ目前。3年間を一緒に駆け抜けた緑学年の仲間たちとの、大切な思い出がまた一つ増えた貴重なひとときとなりました。



PTA広報紙コンクール 最優秀賞!

先日行われた鹿児島市PTA連合会による第37回PTA広報紙コンクールにおいて、伊敷中学校PTA新聞「いき」が最優秀賞に選出されました。

PTA活動の紹介や見聞き特集の内容が充実している点や、地域との連携の深さが読者に伝わるような作りを評価いただいたようです。PTA広報部を中心とした皆様のご尽力が実を結んだ結果となりました。ご協力ありがとうございました。